隔週金曜掲載

特定非営利活動法人
わかやま NPO センター
〒640-8331 和歌山市美園町 5-6-12
TEL 073-424-2223　FAX 073-423-8355
E-mail info@wnc.jp　URL http://www.wnc.jp/
編集　志場 久起

和歌山を創る新聞 わかつく

Vol.86
2014.04.18

和歌山県 NPO サポートセンター

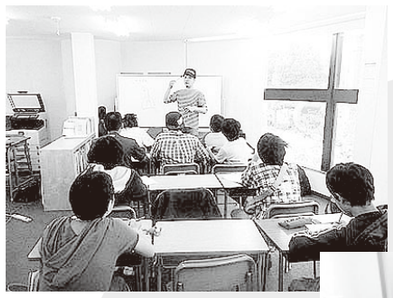
「NPO 法人を設立したい」「NPO ってなにか知りたい」「NPO・ボランティア活動に関する情報を広く発信したい」「活動のチラシの印刷や長尺プリントをしたい」
…サポセンはそんな活動を応援する施設です。是非お越し下さい。
月曜～土曜　9:00 ～ 20:50
日曜　9:00 ～ 17:30（月曜・祝祭日休館）

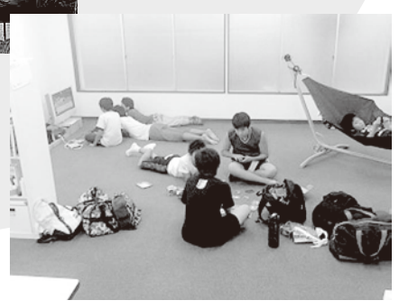
わかやま NPO 広場　検索

子どもたちが社会に羽ばたけるように

和歌山駅より徒歩 1 分にあるビルの 3 階に「志塾フリースクール和歌山」があります。

色々な事情で学校に通いづらくなってしまった子どもたちたちが通う場所として、2013 年 10 月、NPO 法人志塾フリースクール和歌山として法人格を取得し活動されています。今回は、スタッフの酒井俊紀さんに話をお聞きしました。





【活動の様子】
左）授業の様子
下）教室での「お泊まり会」の様子

【写真提供】
NPO 法人志塾フリースクール和歌山

活動をはじめたきっかけは？

法人ができたきっかけは、理事長である山本了輔さんが高校生の時にさかのぼります。

阪神・淡路大震災の災害ボランティア活動のなかでカウンセラーの先生が被災者の方々の心を癒しているのをみて「カウンセラーになりたい」と感じ、山本さんは大学で発達心理学を専攻しました。

そして、大学2回生の頃、「フリースクール」と出会い、在学中に大阪市内でフリースクールを設立することから始まりました。

和歌山県は近畿で2番めに引きこもりの子どもが多いといわれています。そこで、大阪府外にもフリースクールを求めている多くの子どもたちのために、18年間大阪で培ってきた実績を基盤に、和歌山でもNPO法人を新たに立ち上げ、和歌山市にフリースクールをオープンしました。

活動の中身は？

フリースクールには、色々な事情で学校に通いづらくなった子どもたちが、自由に通っており、スタッフ1名が常駐し支援をしています。

「体験する」ことを重視し、その中で自分の能力に気づき、自分の好きなことを追求できるような教育をしているそうです。

身体を動かしたり、物を作ってみたり、社会見学に行ったり、自分の好きなことをする時間が多いのが特徴です。ゲーム、音楽活動、何をしていてもかまいません。

自分のやりたいことをしてみて、興味のある熱中できることを共に探します。

不登校の子どもたちの中には、進学を希望しても学校の入試に合格できず、進学することができないことも少なくありません。

大阪での実績ですが、志塾フリースクールでは一般の学校で教えるような勉強は午前中にします。強制的に参加という形式ではないのですが、参加率もよく、みんな勉強を楽しんでいるので進学率も高く、毎年多くの子が巣立っていきます。

今年は小・中・高あわせて25人が卒業しました。

これからの想いは

フリースクールは色々な辛い経験で学校に通えなくなってしまった子どもたちの気持ちに寄り添う場所。

指導者は不登校の経験者ではなく、どちらかといえば、楽しい学生生活を経験してきた人間です。だからこそ伝える事ができることもあるといいます。

子どもたちのなかには、進学や就職など一定の学年になると焦りだす子が出てきます。話を聞いてみると本心では、できることなら学校を卒業したい、進学したい、将来は社会に出て働きたいと望んでいます。

もし、子どもがそれを望むなら、全力で戻れるように勉強面のサポートをし、学校の代わりになるように社会に復帰する体制をとっていく、と熱意を語ってくれました。

子どもたちには、多くの人に必要とされている事を知ってほしい、そして、毎日楽しいと感じてほしい、と酒井さん。一人でも多くの子どもが元気になることを祈りたいと思います。（植田祐起代）

特定非営利活動法人 志塾フリースクール 和歌山
志塾フリースクール　NUCCA - ヌッカ -
〒640-8331　和歌山市美園町 5 丁目 12-9　第 1 イサオビル 3F
JR 和歌山駅西口より徒歩 1 分。

●教育相談会が開催されます
NPO 法人志塾フリースクール 代表の山本了輔さんと同法人スタッフが悩みのある方のお話を伺います。ひとりで悩まず、お話しませんか。
日　程　2014 年 5 月 10 日（土）13:00 ～ 16:00
会　場　志塾フリースクール和歌山　　参加費　無　料
メール（shijukuorg@yahoo.co.jp）にて前日までにご予約ください。

● 不登校やひきこもり。学校に行きたくない、行けないこどもたちに、さまざまな教育機会を提供しています。自分の居場所。なにか発見できる場所。楽しいことがいっぱい待っている場所。不登校・ひきこもり支援のほかに通信制高校併設しています。また高認のサポート、就職支援も充実しております。体験・見学は無料。気軽にお問合せを。
入会金　10,000 円、使用料　月 29,000 円　夏・冬の冷暖房代 500 円必要
オープン時間　月・水・木・金　11:00 ～ 17:00
TEL　073-499-7428　http://web1.kcn.jp/shijuku/　shijukuorg@yahoo.co.jp

みんなでつくる情報板
わかやまイベントボード

●ワークライフバランスで生き活き！ 企業づくり・人づくり
県内の企業・個人の WLB 事例が集結。経営者・人事担当者だけでなく NPO や大学生の参加も大歓迎。
日時　4 月 19 日（土）
13:00 ～ 15:30
場所　和歌山ビッグ愛 9 階会議室 A
登壇者　平井美那子さん（「営業部女子課」和歌山支局特派員）、滝本裕次さん（大阪ガス和歌山地区支配人）、千畑博信さん（CSP 代表取締役）、吉川裕彰さん（男の出番をつくる会代表）
参加費　無料
問い合わせ　わかやま NPO センター（073-424-2223）

●プラモデル作品展
会員が精魂込めて作り上げた飛行機、車、艦船、AFV などのスケールモデルの力作を展示。
日程　4 月 19 日（土）・20 日（日）11:00（20 日は 10:00）～ 18:00
場所　和歌山市民会館 4 階第 1 練習室
入場料　無料
問い合わせ　和歌山ノン・フライトクラブ（073-423-2782）

●今中哲二氏講演会
東日本大震災から 3 年、チェルノブイリ原発事故から 28 年、改めて被曝について考えます。
日時　4 月 20 日（日）
13:30 ～ 16:00
場所　和歌山ビッグ愛 9 階会議室 A
テーマ　放射能汚染への向き合い方ー福島県飯館村の初期外部被ばく調査を終えて
講師　今中哲二さん（京都大学原子炉実験所助教）
参加費　無料
問い合わせ　原発がこわい女たちの会（073-451-5960・松浦さん）

●おどるんや春まつり 2014
今年夏の第 11 回おどるんや～紀州よさこい祭りプレイベントとして開催されます。
日時　4 月 20 日（日）
11:00 ～ 16:00
場所　和歌山城西の丸広場
内容　41 チームによる演舞、グッズ販売、飲食ブース、川柳コンテスト、テレビ和歌山「栄谷五郎」登場など
入場料　無料
問い合わせ　NPO 紀州お祭りプロジェクト（073-426-4424）

このほかの情報もたくさん掲載！
「わかやまイベントボード」URL
PC 版　http://eventboard.shiminjuku.jp/
携帯電話版　http://eventboard.shiminjuku.jp/m/

JI-MO TIMES Vol.17

あなたの「ほっとけない」が見つかる これからの社会貢献 100

JI-MO TIMES がリニューアル 新連載スタート！

地元力財団ではこの、「JI―MO　TIMES」というコラムで、理事・監事や助成先団体を16回に渡って紹介してきました。財団の事業紹介だけでなく、私たちがなぜ地元の課題解決に取り組んでいるのかということをこの紙面でお伝えしてきました。

1995年、阪神・淡路大震災の際、新聞やテレビでボランティアの存在が取り上げられ、彼らが何をしているのかが報道されました。そして、2011年、東日本大震災の際には阪神・淡路大震災の教訓を得た多くの方がボランティアとして復旧・復興に携わりました。「なぜボランティアをするのか？」という人の想いの部分に焦点を当てた報道が多くなされ、「何か貢献したかった」や「ほっとけなかった」という声が多く聞かれました。

このような報道から読み取れることは、「何か貢献したい」や「ほっとけなかった」という想いが行動に繋がっているということです。ここ和歌山でも「何か地元に貢献したい」と考える市民や企業が年々増加しています。加えて、「何かしたいけれど何をすれば良いのか分からない」、という方も多くいるのではないでしょうか。

【明日からできる社会貢献…地元の課題を知り参加する】

地元力財団では、地元に対する想いを寄付に託すという「新しい寄付のカタチ」を提案しています。寄付はもちろん、明日からできるあなたらしい社会貢献のカタチをこの紙面で紹介していきます。読者のみなさまに地元にある課題を知っていただき、「まず自分が行動を始めてみよう！」や「がんばっている人たちを応援したい！」というムードを盛り上げていきます。

具体的には「子ども」「農業」「防災」など様々な視点から地元の課題を捉え、数字などを交えて分かりやすく解説します。また課題を提起するだけでなく、課題解決の取り組みもご紹介し、いま必要とされていることやこれからできることを提案します。

今年度、地元力財団では「社会貢献支援センター（仮称）」を開設し、市民・企業のみなさまの地元に対する想いをカタチにしていくお手伝いをしたいと考えています。

社会貢献について一緒に考えたい、まだ何をしていいか分からない思った方は、どうぞお気軽にお問い合わせください。

公益財団法人
わかやま地元力応援基金（通称：地元力財団）
〒640-8331　和歌山市美園町 5-6-12　業務時間 平日 9:00 ～ 17:00
TEL 073-428-0011　FAX 073-428-0012　URL http://www.jimotofund.jp/